

瀬戸内市立裳掛小学校

児童生徒数 45名 ・学級数 6学級 ・教職員数 16名（平成26年7月24日現在）

○取組実践のキーワード

特別支援教育の視点に立ったどの子どもも分かる授業づくり
説明する力 読み取る力 習熟 活用

○標題（研究主題）

一人一人に確かな学力を身に付けさせる少人数指導

○取組を始めた経緯

本校は全校児童が少なく、少人数指導が十分可能ではあるが、全国学力学習状況調査および学力定着状況たしかめテスト等の結果分析では、基礎基本の定着が十分でなかったり、学習への意欲や集中力に欠ける児童がいたりするという課題が明らかとなった。

そこで、読んで理解する・書いて表現する・確実な四則計算等といった基礎学力の定着を図ることを進めていくことで、課題が解決できるのではと考え、この取り組みを始めた。

○取組の実施体制

（授業づくり）

校長・教頭 — 研究主任 — 上学年部・下学年部 — 全体会

（環境づくり）

校長・教頭 — 養護教諭・図書館司書 — 各担任

○学力向上に向けた具体的な取組

- <どの子どもも分かる授業づくり>
- ・レディネステストにより実態調査を行う。
 - ・仮説と予想を立てる。
 - ・単元の全体構想を立てる。
 - ・指導案を作り、全体会で検討する。
 - ・授業後の協議は仮説の検証を中心に行う。
 - ・ミニテストの実施と個別指導を行う。
 - ・単元のまとめのテストの実施と個別指導を行う。
 - ・期間において確かめテストを実施し、個別指導で定着を図る。

基礎的基本的な内容の確実な定着を図るために

- ・朝の学習でミニテスト、全校読書
- ・漢字検定を全校で受ける（3学期）
- ・家庭学習の習慣付け、全校統一の「宿題6」…音読・漢字・計算・視写・日記・自主学习（金曜日は読書も）
- ・放課後学習の実施（希望児童）
- ・夏季休業中（前半3日、後半2日）サマースクールの実施（3～6年）

等

<環境づくり>

- 「スマイル貯金」 基本的な生活習慣の定着とノーテレビ・ノーゲームの期間の実施（カードで点検）
- 「読書貯金」 読書の時間を増やすために読書の記録をする（カードに記録）

○現在までの取組の成果と課題

1 成果

個別のニーズに合った支援を工夫することができ、授業のスタンダードができてきた。
それに合わせて教師側の児童の理解もできるようになってきた。（授業の振り返りより）

2 課題

- ・定着がまだ十分ではないので、引き続き仮説と検証を行い、確かめテスト等で個別指導を重ねていく。
- ・個々のつまづきを分析し、支援できるように授業づくりを進めていく。
- ・文章を読み取る力を付けるための授業改善に努め、読書量を増やす。
- ・説明する力をつけるため、話型を示したり教師が補足したりして、全員に発表させていく。

○取組の継続・発展の要因

- ・学力について校内研究のテーマに設定し、全員が授業を公開して仮説の検証を行っていること。
- ・小規模校のため、児童の理解度・定着度・個別のニーズが把握しやすいこと。

○管理職・中核教員等のアクション

- ・校内研究の方法を見直し、研究授業の見る視点を示したり、協議の話し合いの柱を立てたりした。
- ・月1回全校暗算テストの作成・記録や放課後学習の指導に当たる。
- ・「宿題6」を提案。「家庭学習の手引き」の作成・配付。
- ・外部講師の人選と日程・内容等の調整。